

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		9/9~9/16	9/16~9/23	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.14	0.20
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.043	0.078
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.038	0.064
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.21	0.31
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.023	0.062
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	0.034
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.034	0.055
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.075	0.077

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		9/9~9/16	9/16~9/23	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.016	0.026
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.015	0.017

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

市内の大気浮遊じん中のセシウム137濃度は、平均値が0.08mBq/m<sup>3</sup>で、低い濃度であり、健康影響について心配はいりません。

ところで、私の住む和歌山県紀の川市は、全国一の柿の産地ですが、この時期、南相馬市に何うと道の駅の売店などで、JA紀の川の柿を販売していることがあります。先日、柿渋の成分に新型コロナウイルスを不活化する可能性があるという大学の実験結果が報告されました。古くから「柿が赤くなると医者が青くなる」といわれるほどですが、柿はビタミンCも豊富に含み、そのポリフェノールなどが、ウイルスや放射線による環境ストレスを軽減することも期待できると思いますので、旬の果物や野菜をバランス良く食べて健康にすごしましょう。